

自主行動計画2020 2020年度実績

リデュース率：19.2% リサイクル率：46.5% とともに目標を達成

当協議会は、自主行動計画2020(第3次自主行動計画：2016-2020年)に基づいて、2006年からプラスチック容器包装のリデュース率とリサイクル率をフォローアップ集計しました。

2020年度のリデュース率は、2005年度からの累計で19.2%、累積リデュース量は114,977トンになりました。会員団体・企業の努力により、2020年度の目標を超え、前年度の実績より1.6ポイント上回る結果となりました。

リデュース率の集計に際しては、2018年から各分野の業界団体ごとに、適切な原単位の把握による算定など集計精度の向上に取り組んでいます。

また、リサイクル率は、2011年度の排出見込量に対して46.5%になり、46%以上という目標を維持しました。2020年度の容器包装リサイクル法に基づき、容リ協会が集計した再商品化量および特定事業者が独自に回収・リサイクルした量の合計値は、501,018トンでした。

2020年度は、容器包装リサイクル法に基づく再商品化量が、前年度より増加しましたが、これは、コロナ感染症の拡大防止により、家庭でのプラ容器包装の消費量が増加し、分別収集量が増えたことで、再商品化量も増加したためです。

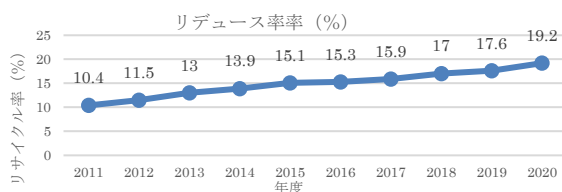
なお、2020年度のリデュース率の集計に際しては、容器利用事業者15団体にご協力頂きました。また、リサイクル率の集計は、全会員団体・企業を対象にアンケート調査を行い、5団体と9社の会員団体・企業から、自主的回収・リサイクルの実績データを頂きました。

詳細は下記URLでご確認ください。

<http://www.3r-suishin.jp/?p=876>

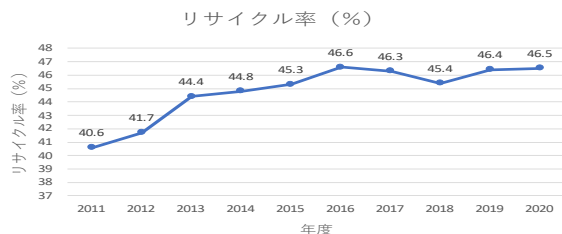
2020年度目標と2020年度実績

	2020年度目標 (累計)	2020年度実績 (累計)	
リデュース率	16%	19.2%	114,977 トン
リサイクル率	46%	46.5%	501,018 トン



リデュース=A÷B

- A：プラスチック容器包装累計リデュース量
2005年度から当該年度までの累計リデュース量
- B：プラスチック容器包装の当該年度推定使用量
A+当該年度のプラスチック容器包装使用量



リサイクル率=(C+D)÷E

- C：当該年度の再商品化量((公財)日本容器包装リサイクル協会の当該年度の公表値)
- D：当該年度に特定事業者が自主的に回収・リサイクルした量
- E：2011年度排出見込量((公財)日本容器包装リサイクル協会の当該年度の公表値)

自主行動計画 2025(第4次計画)を策定、公表

目標はリデュース率 22%、リサイクル率 60% (算定方式を変更)

当協議会では、次期自主行動計画として自主行動計画 2025 (第4次自主行動計画 2021-2025 年度の5年間) を、4月に策定、公表しました。目標は、表※のとおり、リデュース率を 22%、リサイクル率を 60%に設定しました。

自主行動計画 2025 では、リサイクル率の算定方法を、2002 年(平成 14 年)に国が策定した「資源循環指標策定ガイドライン」の再商品化率に変更しました。変更点は、算定の分母をプラ容器包装の市町村回収量+自主回収量にした点です。これまでの算定は分母をプラ容器包装の 2011 年度の排出見込み量としていました。

これによって、事業者の自主的なリサイクルの取組み結果を、より適切に反映できるようになります。

なお、海外でも同様の算定方法を採用している事例が多くあります。

自主行動計画 2025 では、これまでの取組みとの継続性をしめすために、目標を変更後の算定値と、変更前の算式値を併記します。

表 2 自主行動計画 2025 の目標

	基準年度・算定方法	目標・2025 年度
リデュース率	2004 年度	22%
リサイクル率	再商品化率 (従来の算定方式)	60%以上 46%以上

表 3 新算定方法による 2011 年からのリサイクル実績 (2011~2019)

	2011	2012	2013	2014	2015
再商品化率	59.4%	60.5%	61.4%	62.2%	61.2%
市町村分別収集量+自主的回収量	734,852t	742,611t	778,260t	774,602t	819,151t
再商品化量+自主的再商品化量	436,299t	449,643t	478,232t	482,079t	499,316t

	2016	2017	2018	2019	2020
再商品化率	62.6%	62.3%	60.5%	60.9%	62.4%
市町村分別収集量+自主的回収量	802,459t	800,229t	805,056t	819,151t	803,000t
再商品化量+自主的再商品化量	502,229t	498,694t	488,521t	499,316t	501,018t

なお自主行動計画 2025 の取組みに際しては、3R 推進団体連絡会と連携して取り組んでいます。